



五木東小 第25号

学校便り
文責
生田 文明

校内人権週間

先週（二日～六日）、校内人権週間の取組の一環として、各学級で人権学習、全校で人権集会を行いました。

「てつぼうざらい」（低学年）、「うちの仕事」（中学年）、「隣保館のおっちゃん」（高学年）の読み物教材をもとに学級で、お互いに助け合い、認め合いながら生活できるようにするために心がけること、また、差別に気づき、差別をなくすためにしなければいけないことを話し合いました。そして、「やさしいことばをつかいます（低学年）」「言葉づかいに気をつけ、やさしい言葉のクラス（中学年）」「いじめや差別をなくすために相手のことを考えた言葉づかいを意識しよう（高学年）」を各学級の目標としました。これらの目標については、人権集会で全校に知らせ、実践していきます。

人権集会では、県子ども人権集会で学んだことを参加者全員が発表し、そこでの学びを全校へ広げました。また、私からは、心のアンケートをもとに、思いやる言葉や行動の大切さを話しました。そして、みんなで考えた、ほかほか言葉が、いつも聞こえてくる学校、笑顔いっぱいの学校にしていくことを子どもたちと再確認することができました。



「あいさつの木」に花丸をいっぱい咲かせよう

五日（木）に全校集会を行いました。今回の集会では、月目標の反省、緑の少年団交流集会報告を行った後、企画委員会からあいさつ運動の充実に向けた取組についての提案がありました。「登下校時のあいさつは、できるようにしている。これからは、来校者へのあいさつにも力を入れましょう。」ということで、企画委員が来校者役となり、校内でのあいさつの推進を図ることになりました。また、あいさつ運動への意識を高めるために、上手にあいさつができた人に、花丸の花のシールを企画委員が渡し、各学級のあいさつの木に貼ることになりました。

あいさつの木が、花丸の花でいっぱいになるころには、来校者へのあいさつがさらに上手になっていることでしょう。折しも十四日（土）は、保護者、地域の方をお招きしてのもちつき、授業参観等があります。あいさつを実践するよい機会です。「いつでもどこでも笑顔であいさつ日本一」めざし頑張ります。



噛むことで健康増進

八日（日）に五木村学校健康教育委員会主催のハッピークッキング、健康教育講演会を五木中学校で開催しました。

今回のテーマは「噛む」。噛むことの大切さについて、噛むことを意識したメニューでの調理教室

（ハッピークッキング）と「頭がよくなる食生活〜今日からできる食生活〜」と題しての講演会（講師：東海大学農学部教授 片野学氏）の二本柱で行いました。

ハッピークッキングでは小中学生とその保護者三十四人で、「手作りふりかけ」、「鮭のごま焼き」など4品を作りました。また、講演会では、噛むことの3つの効用（①脳への血流が増すことで、栄養が脳へ十分届くようになり、脳の働きがよくなる。②あごの発達を促し、その結果歯並びがよくなり、食物を十分に咀嚼できるようになる。③唾液の分泌がよくなることで、食物の消化を助け、身体の老化を防ぎ、体内に有害な物質も除去できる。）について、詳しく話していただきました。

三十回噛んで飲み込む。このことを心がけることで、健康になり、若さも保たれ、しかも頭もよくなるとのこと。早速、今日から家族みんなで、実践していきましょう。



授業参観 もちつき 人権教育研修会



14日（土） 9:35～

授業参観：道徳「熊本の心」利用

研修会：スマートフォンなどの

安全利用について

ご参加よろしく申し上げます